

(別紙2)

2. 目標達成計画

事業所名 グループホーム白馬

作成日 令和4年 1月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	コロナ禍において感染防止に注力する一方で、毎日の調理や食材の購入が間に合わない心配があった大型台風による停電・断水も経験していて、災害時における食料・飲料水などの備蓄について	災害時に容易に提供できる保存用食品と飲料水の備蓄を定期的に確認し、必要に応じて買い替え・補充を行う	現在点検補充は運営会社職員が行い、現場職員は関与していない。入居者の数や状態によって備蓄すべき食品や、おむつ衛生材料、消毒剤などの備蓄を見直す	3ヶ月
2	49	コロナ禍で外出がほとんどできず、入居者が気詰まりになったり、屋外で歩く練習もできていない。ホーム内での生活が続くことで、入居者が疲弊し、入居者間でのストレスが貯まってきている	外に行きたい、散歩をしたい、という個別の要望を実現すること	天候や利用者の体調にもよるが、コロナ禍前に行っていた1～2人ずつのホーム周辺の散歩に加え、日常業務である(屋外のゴミ置き場への)ゴミ捨てなどにも、希望する利用者を誘い、スタッフ見守りの上での「歩く機会」を作っていきたい	3ヶ月
3	51	面会制限が続く中で、家族とのコミュニケーションが取れなくなっている一方で、ここ数年独居生活だった自宅からの入居者の多くは、携帯電話を持ち込まれる方がほとんどである。しかし使い方がわからなくなり、着信も発信もできないことで家族との関係が希薄になっている	手紙・電話など家族とのコミュニケーションを取りやすくする支援を行う	面会制限を行っている一方、(ホームの固定)電話への取り次ぎを家族に周知し、使い方を忘れていた携帯電話も本人に使ってもらえるような支援を行う。難聴や言葉が出にくい入居者に対しては、毎月送っている「便り」に写真を同封し、家族さんにとっても安心していただくような支援を行う	3ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。